

## 題　　言

### 中川博士の會長講演 失業救濟事業と土木工事

土木學會の會長講演に於て、中川博士は、世界の失業状勢より我國の事情に論及し、結局土木事業を以て失業救濟の必要なるを説き、最後に河川工事は昔から御救ひブシンと稱して失業救濟に利用され、野中兼山氏なども戦國時代後の過剰労力を土木事業に振った例を述べ、河川工事は工費の70%が労力費であり、素人でも直に60%から70%の能率を挙げ得るを以て、失業救濟事業としては河川工事が最適なりと、工事を社會政策に結び付けて大経綸を述べられた。

我等が聽くべき技術経綸の年頭語を、然も其等の責任の位地にある中川博士の口より、堂々と發表せられた事は欣快至極に耐へない處である。

### 土木學會新會長

新年行事の一として、我土木學會定時總會の名譽ある會長選舉は一月十七日鐵道協會講堂に於て舉行された。而して新會長に工學博士那波光雄氏を新副會長に前川貫一氏な得た事は、實に我土木技術界が平和なる常道を進みつゝあるを立證するものである。

那波博士は多年鐵道建設工事に關與し、獨創的工法を以て我國の工事界を覺醒された事も尠くない、後ち鐵道研究所長を退きて以來東帝大及び各種公共團體に關與して官民各方面に多大の指導を拂はれつゝある。今日我國の工事技術界に在つては最も親みの深い先輩の一人である。

前川貫一氏は内務省土木局第一技術課長として重要な職にあり、曾て氏の先輩中野忠雄氏等と共に關西方面の土木事業に功のあつた人である。

### 地震の調査と丹那隧道工事

昨年十一月二十六日の伊豆地方大地震は、其地方の盆地内に隧道工事を進めつゝある鐵道省を始め、各官廳各學校、各團體、各研究所其他に於て、迅速なる調査を進められ、其經過を各所に於て發表せられつゝあるは喜ぶべき事である。

されど要するに今回の各權威者の發表講演も尙ほ調査中であると云ふ所が多く、又は調査設備の説明等であつて、今回の地震の原因が何であるか、今後の地震は何うなるかと云ふ様な明快な結論は一もなかつたのである。恐らく斯る結論は今後永久に解かれぬ謎であらう。人間の身體できへ其病氣を診斷するに苦む場合が多いのであるから、此の大地球の内部に於ける地震と云ふ病源は容易に發見出来ぬ事であらう。

### 世界に例のなき隧道の移動

昨年十一月二十六日の北伊豆の大地震と工事中の丹那隧道の被害とは、土木工事に對し多大の研究題材を與へたものである。恐らく國內のみの問題でなく、世界各國とも、工事技術者の一樣に注意の目をもつてゐる事である。而して其に日本人により何等かの特種の研究の發表せらるゝ事を待望してゐるものである。

今更の事ではないが、土木は大自然を相手としてゐるものである。地質學者も、地震學者も、氣象學者も此所に來つて共同の研究を遂げねばならなくなつた。

### 朝鮮水電の大堰堤工事

世界的混凝土工事のレコードを造つた朝鮮水電の大堰堤工事は日本の工事史上空前の大成績であつて、施工の内容には多大の参考資料がある。本號に掲載したる大寫眞状況は、堰堤工事擔當者瀬戸工學士の案内に依り讀者と共に實地を観察すると殆んど同様の好感を得るものである。